

# ハンドブック ワンポイント レッスン

## 知っておきたい規則とルール

### Question

高校の指導者です。先日の高校生の大会で、生徒が審判をしていたときのできごとです。インプレー中、Aペアの打ったボールがBペア側のベースラインにわずかに触れている際どい位置に落ちました。そのボールに対して副審が緊張のためか思わずアウトのサインを出しました。しかし、正審は、ベースラインは正審の判定区分なのでインと判断したものと思われ、そのサインを無視し、何のコール(サイン)もしませんでした。プレーヤーもそのままラリーを続けてAペアのポイントで決着が着きました。ところが、Bペアから「副審がアウトのサインを出したのだから、その時点でアウトではないか」との質問をされました。アンパイヤー同士が話し合っていました。結果は副審の判定ミスということでAペアのポイントになりました。この判定でよいのでしょうか。

### Answer

インプレーにおいて、アンパイヤーが誤ってインプレーを停止するサイン又はコールをした場合は、直ちにプレーを中断させる。

アンパイヤーの生徒さんは明らかに「判定区分と判定の誤り」そして「質問に対する対応の仕方」に問題がありました。

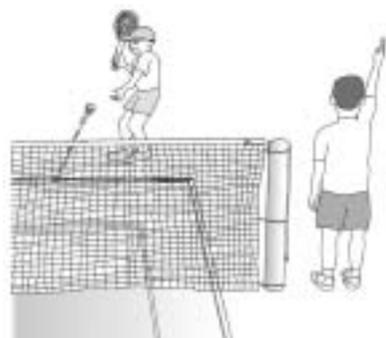
まず、「判定区分と判定の誤り」について考えてみましょう。審判規則第7条(アンパイヤーの心得)第3号クに「他のアンパイヤーの判定区分については、その権限を侵さないこと」。そして、ベースラインは審判規則第8条(アンパイヤーの判定区分)(3)により区画線による判定区分は正審です。その上で、審判規則第16条(プレーの停止)には「インプレーにおいて、アンパイヤーが誤ってインプレーを停止するサイン又はコールをした場合は、直ちにプレーを中断させる」。したがって、正審は副審がアウトのサインを出した時点で直ちにプレーを中断させる必要がありました。また、副審はプレーが継続されたならば、自分の責任においてプレーを止める勇気が必要でした。

これらの場合、副審が二重の誤り(判定区分と判定)をしていますから、正審は、まず「タイム」とコールし、プレーを中断させた上で、副審がサインを出した打球がアウトであるかどうか確認します。インであれば、副審のアウトのサインがプレーに支障を与えたかどうかを判

断します。今回の場合、ラリー中にプレーを中断させるサインを出しているの、プレーに支障を与えたと判断し、Aペアのポイントではなく「ノーカウント」にすることが正しい判定です。なお、プレーに支障がなかった(判定の如何に拘わらず返球が不可能であった場合等)と正審が判断した場合は、判定の訂正(今回の場合、アウトをイン)のみを行うこととなります。

次に、「質問に対する対応の仕方」についてです。今回、正審は、質問に対して「イン」とであると確信を持って判定していました。しかし、副審のアウトのサインを無視したことが、質問に対する対応として正しいか否かを考えていません。迷った時は、大会のレフェリー(審判委員長)に連絡し、相談すべきでした。

今後は、大会運営に際し、各校の先生方がコート主任の役割を果たしていただくことをお勧めします。そして、アンパイヤーを行う生徒さんにハンドブックの内容と審判技術をご指導いただくとともに、質問に対し判断に迷った時は、すみやかにレフェリーに連絡し相談するようご指導もお願いします。



### 【関連規則】

審判規則第7条(アンパイヤーの心得)

第3号ク 他のアンパイヤーの判定区分については、その権限を侵さないこと

審判規則第8条(アンパイヤーの判定区分)

(1) 区画線による判定区分

ウ 線審 AB, CD(ベースライン)

(2) 線審または副審を省略した場合は、それらの判定区分は正審が担当する。

審判規則第16条(プレーの停止)

インプレーにおいて、アンパイヤーが誤ってインプレーを停止するサイン又はコールをした場合は、直ちにプレーを中断させる。なお、副審が二重の誤り(判定区分と判定)をした場合には、「タイム」とコールする。この場合において、正審はサイン又はコールがプレーに支障を与えたと判断した場合はノーカウント(レシーブが終わる前はレット)とし、プレーに支障がなかったと判断した場合は判定の訂正を行う。